

題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立東中学校 (氏名) 金林 奏汰



私は、戦争と平和について学ぶために、広島に行きました。広島では、原爆ドームや平和記念資料館を見学して、原爆によって焼かれたボロボロの服や三輪車、人影の石などを見て、原爆の威力や恐ろしさを肌で感じました。また、被爆者の方から実体験を聞くことができましたが、それは今の私達の生活からは想像もできないほど悲惨なものでした。戦争は私達の日常を一瞬にして奪ってしまう、とても恐ろしいものだと思い知らされました。この広島派遣事業で実際に自分の目で見て感じたこと、広島で学んだことは、戦争を経験していない私達にとって、改めて平和の尊さについて考える貴重な機会になりました。そして、絶対に戦争をしてはいけない、という強い意志を今後私達がもち続けていくことが大切だと考えました。